

沈降分析

沈降分析を行う前に、あらかじめ土粒子の密度 ρ_s と塑性指数 I_p を求めておく。

・浮標の検定

浮標を蒸留水の中に浮かべ、メニスカス上端 r_u および下端 r_L を読み取り、メニスカスの補正值 C_m を求める。

そして沈降分析は、試料の懸濁液の密度を測定して行う。

- ① 分散後の試料の全量を容量 1 L のメスシリンダーに移し、1 L になるまで蒸留水を加える。
- ② これを恒温水槽または恒温室内に置き、懸濁液の温度が水温あるいは室温と等しくなるまで放置する。
- ③ メスシリンダーを取り出し、図のようにふたをして逆さにしたり戻したりする操作を 1 分間続けて内容物を均一な懸濁液にした後、恒温水槽または恒温室内に静置する。



写真 1

- ④ 静置後、1、2、5、15、30、60、240、1440 分に浮標を浮かべ、その読み r と懸濁液の温度 T ($^{\circ}\text{C}$) を測定する。